



2022年7月26日

株式会社 阿波銀行

株式会社 FREE FACTORY の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社 FREE FACTORY（代表取締役 古川 浩、本社：徳島県小松島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	株式会社 FREE FACTORY
所在地	徳島県小松島市和田島町字遠見 69 番地の 4
代表者	古川 浩
業種	金属製品製造業
設立	2018 年 4 月 16 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年7月26日



## 株式会社FREE FACTORY 代表取締役 古川 浩

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	働きがい	社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	① 社員との定期的な面談により社員からの疑問、不満を抽出し解決に繋げる	
			② 毎朝10分間のミーティングを実施	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	① エネルギー使用量の把握・削減	
			② 最新の溶接機導入、混合ガスの使用により2025年までに電力使用量を25%削減（2022年度比）	
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	① (1)子どもたちのスポーツ協賛、支援 (2)周辺地域での美化活動	
			② (1)地域への寄付を年1回継続実施 随時練習場の貸出 道具の修理、整備を無償で実施 (2)月1回実施	
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営者が自社の事業方針について社員一人一人に浸透するよう、主体的に努めます。	① (1)経営理念や考え方をHP上で公開 (2)目標、社長のメッセージをHPで発信 (3)事業方針に向けた活動内容や取組みを会社のHPで発信	
			② (1)2025年度までに公開 (2)2025年度までに実施 (3)月1回発信	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。